

## 研究成果及び活動一覧（2019. 1. 1～12. 31）〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など  
 B：学会での口頭発表その他の活動  
 C：講演、論説など  
 D：学術的調査

## 青山英正

- A：1 （論文）「幕末志士はなぜ和歌を詠んだのか——漢詩文化の中の和歌」、『アジア遊学 229 文化装置としての日本漢文学』、勉誠出版、pp 127-136、1. 15.  
 2 （コラム）「地方を支える三都」、『日本文学』第 68 巻 2 号、pp 84-85、2. 10.  
 3 （論文）「城戸千楯『月鉦天井画乃記』考察と翻刻——岩城宗廉「源氏五十四帖扇面散図」の制作過程をめぐって」、『明星大学研究紀要 人文学部日本文化学科』第 27 号、pp 33-51、3. 8.  
 4 （論文）「伊勢の文化的ネットワークと『春雨物語』の流通——桜山文庫本の旧蔵者正住弘美をめぐって」、『雅俗』第 18 号、pp 4-20、7. 16.
- B：1 科学研究費補助金基盤（B）「伊勢商人の文化的ネットワークの研究——石水博物館所蔵書簡資料をもとに」（研究課題番号 15H03183）、研究代表者。  
 2 科学研究費補助金基盤（B）「写本文化としての日本近世—国際貢献できる UC パークレー校蔵写本目録作成を通じて」（研究課題番号 17H04520、研究代表者：勝又基）、研究分担者。  
 3 （学会活動）鈴屋学会常任委員。  
 4 （学会活動）日本近世文学会委員。  
 5 （学会活動）日本文学協会委員。  
 6 （学術活動）人間文化研究機構国文学研究資料館地域資料専門部会委員。  
 7 （学術活動）上田秋成研究会における高松亮太『秋成論攷—学問・文芸・交流—』（笠間書院）合評会特定質問者、於駒澤大学 246 会館、3. 28.
- D：1 （学術調査）石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、3. 15-16.  
 2 （学術調査）石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、5. 1-2.  
 3 （学術調査）国文学研究資料館調査収集事業における文献調査、於国立国語研究所、7. 31-8. 1.  
 4 （学術調査）石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、11. 3-4.  
 5 （学術調査）石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、12. 26-27.

### 内海敦子

- A : 1 「談話におけるインドネシア語のヴォイス：バリ島で話されているインドネシア語の談話の分析から」『明星大学研究紀要—人文学部—日本文化学科』、第26号 pp.80(15)–67(28)、3.10
- A : 2 「茨城県大洗町のインドネシア人—日系三世と研修生のケーススタディー」明星大学研究紀要—人文学部—日本文化学科、第27号、pp 106–87.
- B : 1 学会発表：‘Referent Marking in the Bantik Language’. The 16th International Pragmatics Association. Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong. 06.11.
- 2 学会発表：‘Stress in Manado Malay: How word-level stress pattern appear in a bigger illocutionary unit’, 23rd International Symposium on Malay-Indonesian Linguistics. Ketapang Indah Hotel, Banyuwangi. 06.09.
- 3 研究会発表：「マレー語方言のピッチパターンとインテンシティ：マナド方言のピッチパターン」、2019年度第1回（通算第6回）マレー方言の地域的変異研究会、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。07.28.
- 4 学会発表：‘Semantic Typology of Voice Systems in Western Malayo-Polynesian Languages’, 13<sup>th</sup> Conference of the Association of Linguistic Typology、パヴィア大学、イタリア・パヴィア、09.05.
- 5 研究会発表：‘Address Terms in Malay World: A preliminary study’、2019年度第2回（通算第7回）マレー方言の地域的変異研究会（通算第3回国際研究会）、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、12.01.
- C : 1 講演：「マレー語世界の広がり」、NPO 法人地球ことば村、慶應大学日吉キャンパス。06.01.
- 2 集中講義：Descriptive Linguistics and Sociolinguistic Research in Fieldwork、ハインリヒ・ハイネ大学、デュッセルドルフ、09.26～09.27.
- D : 1 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究員 01.01～12.31.
- 2 マレーシア・ブルネイ、資料収集、02.23～03.02.
- 3 マレーシア、コタキナバル言語調査（Suluk 語、サバ州のマレー語）08.15～08.22.

## 勝又 基

- A : 1 (共編著)『江戸怪談文芸名作選 5 諸国奇談集』、国書刊行会、p 592、9.10.  
 2 (編著)『古典は本当に必要なのか、否定論者と議論して本気で考えてみた。』、文学通信、p 217、9.19.
- B : 1 科研費補助金(基盤(B)海外学術)「写本文化としての日本近世—国際貢献できる UC バークレー校蔵写本目録作成を通じて」(課題番号 17H04520) 研究代表者、1.1~12.31
- C : 1 (コーディネートおよび司会) 国際シンポジウム「古典は本当に必要なのか」、明星大学、1.14  
 2 (招待講演)「A History of Japanese Queer Culture: From the Edo Period to BL」、コロラド大学ボルダー校、3.14  
 3 (招待講演)「The History of Japanese Queer Culture: From the Edo Period to BL」、アリゾナ大学、3.20  
 4 (学会発表)「Unsentimental Journey: Physicality in the Edo Travel Journal “Tozai Yuki”」(代読)、AAS(米国アジア学会) @ デンバー、3.24  
 5 (招待講演)「The Reason to Invade Onigashima: The Transformation of Momotaro According to Ideology」、ハイラム・カレッジ、10.01  
 6 (招待講演)「The Reason to Invade Onigashima: The Transformation of Momotaro According to Ideology」、フロリダ大学、10.25  
 7 (招待講演)「The Reason to Invade Onigashima: The Transformation of Momotaro According to Ideology」、フロリダ州立大学、10.28  
 8 (招待講演)「Male-Male Sexuality in Japan: From the Edo Period to “Boys-Love”」、ノールカロライナ大学シャーロット校、10.31  
 9 (招待講演)「Do We Really Need Classics?」、マサチューセッツ州立大学アマースト校、12.04  
 10 (ゲストスピーカー) 落語の実演とレクチャー、マサチューセッツ州立大学アマースト校、12.05  
 11 (パネリスト)「Was Ono no Komachi a “Virtuous” Woman?: Changing Ideology, Changing Interpretation」, International Workshop “The Heredity of Desire: Love and its Literary Contestations across Boundaries of Tradition and Modernity”(ハーバード大学)、12.13
- D : 1 (教育活動) 米国ハイラムカレッジ学生を招いての合同研究会開催、明星大学、5.06

## 向後恵理子

- A : 1 [学術論文] 「記憶の展示——パノラマ・ジオラマによるメモリースケープ」『紅い戦争のメモリースケープ—旧ソ連・東欧・中国・ベトナム』〈スラブ・ユーラシア叢書 13〉北海道大学出版会、(査読無) 2019.5.
- B : 2 [学術発表] 向後恵理子「絵葉書——イメージの交通」、「戦間期東アジアにおける大衆的図像の視覚文化論」国際シンポジウム総括公開円卓会議、大正イマジユリィ学会(同志社大学) 2019.8.4.
- 3 [学術発表] 向後恵理子「予備報告：日清戦争錦絵にみる身体の表象——視覚メディアとしての錦絵を読む」学術フォーラム準備会(東京経済大学) 2019.10.8.
- 4 [学術発表] 向後恵理子「日清戦争錦絵にみる身体の表象——視覚メディアとしての錦絵を読む」学術フォーラム：東アジア近代史視覚資料の再発見(東京経済大学) 2019.11.30.
- 5 [司会] 国際シンポジウム「破壊と視覚表象——日本近代の〈イコノクラスム〉をめぐって」早稲田大学(科研「日本近代における〈イコノクラスム〉——破壊をめぐる視覚表象研究」主催イベント) 2019.7.20. 登壇者：タイモン・スクリーチ(ロンドン大学東洋アフリカ研究学院)、ジェニファー・ワイゼンフェルド(デューク大学)、ミカエル・リュケン(フランス国立東京言語文化研究学院)、丹尾安典(早稲田大学)。
- 6 [学術発表] 向後恵理子「破壊の展示——〈正しい〉イコノクラスムをめぐって」、科研「日本近代における〈イコノクラスム〉—破壊をめぐる視覚表象研究」第9回公開研究会(早稲田大学) 2019.12.7.
- 7 [科学研究費助成] 研究代表者、基盤研究(C)、「明治後期における戦争画の移入と展開：トモエ会の活動を中心に」(研究課題番号 19K00181) 2019-2022年度。
- 8 [科学研究費助成] 研究分担者(事務局担当)、基盤研究(B)、「日本近代における〈イコノクラスム〉—破壊をめぐる視覚表象研究」(研究課題番号 15H03179) 2015-19年度、研究代表者：丹尾安典(早稲田大学)。
- 9 早稲田 表象・メディア論学会 会計監査担当。
- C : 1 [ギャラリートーク・トークセッション] 東京経済大学所蔵桜内義之文庫錦絵特別展示(東京経済大学図書館) 2019.12.6. 徐京植先生とともに。
- D : 1 [監修] 明星大学貴重書コレクション ウィリアム・モリス—理想の書物を求めて(会期：2019.3.22-12.21) 明星大学資料図書館。
- 2 [作品選定] 東京経済大学所蔵桜内義之文庫錦絵特別展示(会期：2019.11.16-12.7) 東京経済大学図書館。
- 3 [編集・解題] 『絵葉書関係資料コレクション 出版／流布／収集』〈文圃文献類従〉第1巻「絵葉書メディア論」金沢文圃閣、2019.5.
- 4 [編集・解題] 同第2巻「目録」、金沢文圃閣、2019.5.

- 5 [編集・解題] 同第3巻「目録・広告カタログ」、金沢文圃閣、2019.11.
- 6 [編集・解題] 同第4巻「ビジュアル出版関係・広告カタログ」、金沢文圃閣、2019.11. 以下続刊。
- 7 [新聞記事] 「(耕論) 万歳! 万歳! 万歳! …? : 統治に身を委ねる自覚を」『朝日新聞』2019.12.12.
- 8 自主研究会: 「美術・視覚文化研究会」は星友祭において「和本」をテーマにした展示および和本作り体験を行った。

### 古田島洋介

- A : 1 論文: 漢文訓読の初期条件(初稿)〔上〕——なぜ孤立語を膠着語に変換できたのか? ——、明星大学研究紀要《人文学部・日本文化学科》第27号、pp.1-12、3.1.
- 2 紹介文: 学園紹介「明星大学」、全国漢文教育学会《新しい漢字漢文教育》第69号、pp.60-61、11.30.
- 3 随筆+漢詩訓読: 最後の志士——草開省三先生追悼文、『草開省三先生追悼集』刊行委員会(代表: 古田島洋介)『草開省三先生追悼集』pp.52-55./同書扉〔韓国〕安長江: 追悼七言律詩の訓読(扉裏)、12.2.
- 4 論文: 近代文学と中国古典、牧角悦子・町泉寿郎〔編〕講座《近代文学と漢学》第1巻『漢学という視座』pp.152-167、戎光祥出版、12.10.
- B : 1 共同研究発表: 漢文の複雑度について、計量国語学会: 第63回大会、研究代表者: 島野達雄、共同研究者: 湯城吉信・田村誠、立川市・国立国語研究所2F講堂、9.21.
- 2 東大比較文学会《比較文学研究》編輯委員(2008.10.~)
- 3 《東アジア比較文化国際会議》日本支部長(2012.6.~)
- C : 1 研修会講師: 『論語』学而「有朋自遠方来」の訓読再考——復文の効用——、全国漢文教育学会〔主催〕第35回漢文教育研修会《教育講座》第2日、二松學舎大学九段キャンパス3号館3F、8.17.
- 2 公開講座: <平成><令和>と漢文学——出典と解釈——、令和元年度明星大学人文学部日本文化学科公開講座《元号と改元》第1日、10.5.
- 3 集中講義: 日中比較文学研究の視野と方法、四川外国語大学<日語系>招聘教授、講義棟C-4F: 日本文化体験室、中国・重慶市、10.29.-31.
- 4 公開講演: 日本古典文学の三大伝統主題〔中国語〕、四川外国語大学・講義棟C-4F: 日本文化体験室、中国・重慶市、11.1.
- D : 1 武術指導: 日文研究会「日中武道比較研究会」の顧問として、日本少林拳同盟会会長: 川口賢氏を二回にわたって招聘し、基本功および少林連環拳を指導。6.25、11.26.

### 柴田雅生

《2018年分追加》

- A : 2 書評:「出版がもたらした辞書史の一画期 佐藤貴裕著『節用集と近世出版』」、『文芸研究』第186集、pp.28-29、9.30.

《2019年》

- C : 1 「宣命と天皇のことば」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座「即位と改元」、11.9.
- D : 1 3年次の日本文化演習で、学生とともに、『祝本狂言集』の本文解釈と諸台本との対照に基づく研究を行う。
- 2 学生による自主研究会「日本語研究会」の顧問として、現代小説のオノマトペの研究を行う（成果は研究報告書としてまとめる予定）。

### 田村良平

- A : 1 報告:「能〈玉井〉の再考・新演出について」、『明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科』27号、pp.27-31、明星大学人文学部日本文化学科、3.8.
- 2 評論:「横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演『能の五番・朝薫の五番』第2回～組踊〈執心鐘入〉、能〈道成寺〉／琉球独自の精華実感・沖縄での能定演に期待」(2.9. 横浜能楽堂)、『琉球新報』2.14.
- 3 評論:「横浜能楽堂『大典・奉祝の芸能』第1日～琉球舞踊／能鳳・恐るべき身体性」(6.2. 横浜能楽堂)、『琉球新報』7.5.
- 4 評論:「第3回青山実験工房『能と琉球芸能』／的確な演出で成果残す」(6.24. 鏡仙会能楽研修所)、『琉球新報』7.12.
- 5 評論:「改元初月『令和』始発の舞台～5月の能・狂言」、『能楽タイムズ』7月号、能楽書林、7.1.
- 6 評論:「今後の向上を期待～金剛流の復曲能〈薄〉について」、『能楽タイムズ』8月号、能楽書林、8.1.
- 7 評論:「堂本正樹ならどう見たか～9月の能・狂言」、『能楽タイムズ』11月号、能楽書林、11.1.
- 8 対談:「能楽対談609回・組踊の基本をしっかりと(宮城能鳳氏と対談)」、『能楽タイムズ』10月号、能楽書林、10.1.
- 9 随筆:「追悼・堂本正樹～秋霜烈日の論客」、『毎日新聞』(朝刊「悼む」欄)、11.18.
- 10 随筆:「追悼・堂本正樹～創作者としての演劇批評家」、『能楽タイムズ』12月号、能楽書林、12.1.
- 11 解説:「狂言〈棒縛〉、能〈道成寺〉」、『国立能楽堂』425号、pp.15-16、独立行政法人国立能楽堂、1.1.
- 12 解説:「狂言〈腰折〉、能〈松風 見留〉」、『国立能楽堂』426号、pp.9-10、独立行

- 政法人国立能楽堂、2.1.
- 13 解説：「狂言〈鈍太郎〉、能〈邯鄲〉」、『国立能楽堂』428号、pp.12-13、独立行政法人国立能楽堂、4.1.
- 14 解説：「狂言〈素袍落〉、能〈絵馬〉」、『国立能楽堂』429号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、5.1.
- 15 解説：「狂言〈察化〉、能〈梅枝 越天楽〉」、『国立能楽堂』430号、pp.13-14、独立行政法人国立能楽堂、6.1.
- 16 解説：「狂言〈右近左近〉、能〈夕顔 山ノ端之出・法味之伝〉」、『国立能楽堂』431号、pp.13-14、独立行政法人国立能楽堂、7.1.
- 17 解説：「狂言〈吹取〉、能〈蟬丸〉」、『国立能楽堂』433号、pp.13-14、独立行政法人国立能楽堂、9.1.
- 18 解説：「狂言〈寝音曲〉、能〈初雪 古式〉」、『国立能楽堂』434号、pp.8-9、独立行政法人国立能楽堂、10.1.
- 19 解説：「組踊〈銘苅子〉、能〈羽衣 和合之舞〉」「組踊〈二童敵討〉、能〈放下僧〉」、『国立能楽堂』435号、pp.16-17、27-28、独立行政法人国立能楽堂、11.1.
- 20 解説：「狂言〈業平餅〉、能〈恋重荷〉」、『国立能楽堂』436号、pp.4-5、独立行政法人国立能楽堂、12.1.
- 21 解説：「能とは何か、〈翁〉、狂言〈寝音曲〉、仕舞〈船弁慶 キリ〉、能〈羽衣 和合之舞〉」「能〈放下僧〉、狂言〈樋の酒〉、仕舞〈東北 クセ〉、半能〈石橋 大獅子〉」、『華風 国立劇場おきなわステージガイド』2019年12月号、公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団、11.30.
- 22 解説：「能〈竹生島 女体〉、狂言〈千鳥〉、能〈葵上〉」、『第48回桃々会 パンフレット』、閑能會、4.14.
- 23 解説：「能〈鷺〉、能〈安宅 勸進帳・酌掛・延年之舞・貝立〉、狂言〈文蔵〉、能〈乱〉」、『第48回正門別会 パンフレット』、観世清和・正門別会、6.16.
- 24 解説：「能〈花月〉、狂言〈名取川〉、能〈邯鄲〉」、『第10回清能会・塩津能の會 パンフレット』、塩津能の會、10.5.
- 25 解説：「箏組歌〈飛燕曲〉、仕舞〈葵上〉、地歌〈葵上〉」、『第1回山村若静紀舞の會 パンフレット』、山村若静紀舞の會、11.6.
- 26 解説：「居囃子〈松風〉について」、『石川県立音楽堂～洋邦コラボレーション・コンサート：コラージュ～能による三つの情景 パンフレット』、石川県立音楽堂、11.13.
- 27 解説：「ミュージカル〈レ・ミゼラブル〉鑑賞の手引き」、『日本文化学科1年生学外講座用冊子』、4.29.
- 28 随筆：「雪月花まわり舞台・第42回～大槻文蔵 能〈芭蕉〉」、『孤峰』2019年1月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、1.10.
- 29 随筆：「雪月花まわり舞台・第43回～ミュージカル〈スリル・ミー〉」、『孤峰』2019年2月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、2.10.
- 30 随筆：「雪月花まわり舞台・第44回～国立劇場文楽公演〈中將姫古跡之松〉吉田簀



- 助の中将姫』、『孤峰』2019年3月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、3.10.
- 31 随筆：「雪月花まわり舞台・第45回～新国立劇場バレエ〈ラ・バヤデール〉」、『孤峰』2019年4月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、4.10.
- 32 随筆：「雪月花まわり舞台・第46回～新国立劇場オペラ〈ヴェルテル〉藤村実穂子のシャルロット」、『孤峰』2019年5月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、5.10.
- 33 随筆：「雪月花まわり舞台・第47回～国立劇場五月文楽公演 通し狂言〈妹背山婦女庭訓〉」、『孤峰』2019年6月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、6.10.
- 34 随筆：「雪月花まわり舞台・第48回～横浜能楽堂特別企画公演『大典・奉祝の芸能』宮城能鳳の〈かぎやで風〉」、『孤峰』2019年7月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、7.10.
- 35 随筆：「雪月花まわり舞台・第49回～劇団新派 三越劇場〈夜の蝶〉」、『孤峰』2019年8月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、8.10.
- 36 随筆：「雪月花まわり舞台・第50回～文学座公演 テネシー・ウィリアムズ〈ガラスの動物園〉」、『孤峰』2019年9月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、9.10.
- 37 随筆：「雪月花まわり舞台・第51回～DULL-COLORED POP 第20回本公演 谷賢一〈福島三部作〉一挙上演」、『孤峰』2019年10月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、10.10.
- 38 随筆：「雪月花まわり舞台・第52回～橘香会 梅若万三郎 能〈芭蕉〉」、『孤峰』2019年11月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、11.10.
- 39 随筆：「雪月花まわり舞台・第53回～中村京藏舞踊のタベ〈京鹿子娘道成寺〉」、『孤峰』2019年12月号、一般財団法人江戸千家蓮華庵、12.10.
- 40 随筆：「生々の父、生々の母～能〈朝長〉の世界観」、『TTR 能プロジェクト パンフレット』、TTR 能プロジェクト、2.2.
- 41 随筆：「能のみかた 第2回～源氏物語と能／中世思想のドラマ〈夕顔〉」、『武蔵野樹林』vol.2・2019春、角川文化振興財団、4.20.
- 42 随筆：「能のみかた 第3回～能と琉球舞踊・組踊」、『武蔵野樹林』vol.3・2019秋、角川文化振興財団、10.31.
- 43 随筆：「特集・型を歌に生かす～他ジャンルから吸収する型の本質／能の『型』と『型扱い』」、『短歌』2019年10月号、角川文化振興財団、9.25.
- 44 随筆：「批判による愛～疾走する野村萬斎へ捧げる祝辞」、『狂言ござる乃座60thパンフレット』、万作の会、10.26.
- 45 「山勢麻衣子演奏会」制作の相談に与り、山田流箏曲〈葵の上〉詞章現代語訳の監修を務める（11.22.紀尾井小ホール公演）。
- 46 個人ウェブサイト「村上湛・古典演劇評論」において評論・研究・随想を随時公開。

C：1 一般財団法人観世文庫評議員

2 沖縄県立芸術大学非常勤講師（「芸術表現総合比較研究Ⅰ」担当）

3 明星大学人文学部日本文化学科公開講座「『源氏物語』の世界／即位と改元」（全8講座）の企画・立案を担当する。明星大学日野校、10.5、20、27、11.9。（台風の



- ため当初予定の10.12.を休講とし、11.9.に延期開催)
- 4 講演：「能〈朝長〉について」、TTR能プロジェクト 能〈朝長〉(シテ：浅井文義)、大槻能楽堂、2.2.
  - 5 講演：「即位と能楽～近代皇室の能楽文化」、国立能楽堂公開講座、国立能楽堂、5.10.
  - 6 講演：「花の隠喩 夕顔の笑みの眉」、第667回大槻能楽堂自主公演能「能の魅力を探るシリーズ『源氏物語』より 六条御息所を巡って」(能〈夕顔 山ノ端之出・法味之伝〉シテ：大槻文藏)、大槻能楽堂、5.18.
  - 7 講演：「松竹大歌舞伎プレ講座 歌舞伎の楽しみ「型」の秘密～昭和・平成・令和の芸～」、石川県立音楽堂、6.17.
  - 8 講演：「組踊上演300周年公開講座〈執心鐘入〉をめぐって 第2回 能〈道成寺〉」、国立劇場おきなわ、7.10.
  - 9 講演：「人間うれひの花ざかり」、銀座余情 能と狂言(能〈隅田川〉シテ：大槻文藏)、観世能楽堂、8.24.
  - 10 講演：「能〈井筒〉について」、セルリアンタワー能楽堂定期能9月公演～観世流、セルリアンタワー能楽堂、9.14.
  - 11 講演：明星大学人文学部日本文化学科公開講座「『源氏物語』の世界～〈総合〉〈松風〉講読」、明星大学日野校、10.5、11.9。(台風のため当初予定の10.12.を休講とし、11.9.に延期開催)
  - 12 講演：「芭蕉葉の夢」、橘香会(能〈芭蕉 蕉鹿語〉シテ：梅若万三郎)、国立能楽堂、10.19.
  - 13 講演：「美女の憂愁」、第1回山村若静紀舞の會、鏡仙会能楽研修所、11.6.
  - 14 講演：「能〈砧〉について」、明星大学人文学部日本文化学科主催「能楽鑑賞會」(能〈砧〉シテ：大槻文藏)、鏡仙会能楽研修所、12.20.
  - 15 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室1月期講座「能をどう見るか 能〈道成寺〉～能演出の究極」、朝日カルチャーセンター新宿教室、1.10、2.7、3.14.
  - 16 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室4月期講座「能をどう見るか 能〈恋重荷〉～洗練を極めた恐怖劇」、朝日カルチャーセンター新宿教室、4.18、5.9、6.20.
  - 17 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室7月期講座「能をどう見るか 能〈芭蕉〉～宗教的詩劇の極致」、朝日カルチャーセンター新宿教室、7.4、8.22、9.19.
  - 18 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室10月期講座「能をどう見るか 能〈羽衣〉～至高の傑作・斬新な野心作」、朝日カルチャーセンター新宿教室、10.17、11.14、12.26.
  - 19 講座：「俳優・須賀貴匡〈かもめ〉への軌跡」(須賀貴匡氏と対談)、朝日カルチャーセンター新宿教室、4.15.
  - 20 講座：「上原理生の語る魅惑のミュージカル」(上原理生氏と対談)、朝日カルチャーセンター新宿教室、5.15.
  - 21 講座：「源氏物語と能〈野宮〉をめぐって」(馬場あき子氏と対談)、朝日カルチャーセンター新宿教室、5.20.

- 22 講座：「〈執心鐘入〉をめぐって」（宮城能鳳氏と対談）、組踊上演300周年公開講座第2回、国立劇場おきなわ、7.10.
- 23 講座：「源氏物語と能〈夕顔〉〈半蔀〉をめぐって」（馬場あき子氏と対談）、朝日カルチャーセンター新宿教室、11.11.
- 24 講座：池袋コミュニティカレッジ1月期～7月期『歌舞髓脳記』精読（7.29.まで）、7月期～10月期『禪鳳雑談』精読（8.19.より）、池袋コミュニティカレッジ、1.28、2.25、3.25、5.27、6.10、7.8、7.29、8.19、9.9、10.21、11.11、12.9.
- 25 放送解説：NHK-FM「FM能楽堂 素謡〈玄象〉、連吟〈猩々〉、素謡〈誓願寺〉解説」、2018.1.17.（収録）、2019.1.6、13、27.（放送）
- 26 放送解説：NHK-Eテレ「古典芸能への招待 能〈卒都婆小町〉副音声解説」（シテ：友枝昭世）、1.17.（収録）、1.27.（放送）

- D：1 日本文化学科1年生学外講座（「日本語レベルアップ1、2」代替授業）として東宝ミュージカル〈レ・ミゼラブル〉鑑賞会を企画・立案、学科教員とともに引率する。帝国劇場、4.29.
- 2 上記企画の準備として鑑賞事前講座（「伝統文化論1」代替授業）の企画・立案を担当する。4.17、24.
  - 3 日本文化学科2年生学外講座として明星大学人文学部日本文化学科主催「能楽鑑賞会」（「日本文化基礎演習2」代替授業 能〈砧〉シテ：大槻文藏）の企画・立案を担当する。鏡仙会能楽研修所、12.20.
  - 4 日本文化学科2年生対象「日本文化研究」において茶道実習指導を担当する。8.5～8.9.
  - 5 日本文化学科学生研究会「源氏物語研究会」の研究指導を通年に互って担当する。
  - 6 上記研究会の企画として学外読書会を引率する。円覚寺龍隠庵、9.6.
  - 7 日本文化学科学生研究会「舞台藝術鑑賞会」の研究指導を通年に互って担当し、公演に引率する（新国立劇場バレエ〈ラ・バヤデール〉3.10、新国立劇場〈かもめ〉4.20、帝国劇場ミュージカル〈レ・ミゼラブル〉5.19、帝国劇場ミュージカル〈エリザベート〉8.1、シアタークリエ〈ブラッケン・ムーア〉8.26、サンモールスタジオ〈受取人不明／ADDRESS UNKNOWN〉10.6.）。
  - 8 日本文化学科学生雑誌『蝦蟇』の顧問を務める。

## 服部 裕

- A：1 論文：帝国主義論考 ～ホプソンの『帝国主義論』に関する一考察～、明星大学研究紀要・人文学部・日本文化学科、第27号、pp.(35)-(51)、3.8.
- D：1 学科学生の自主研究会である映画研究会を数回開催し、映画鑑賞会と討論会を行った。

## 前田雅之

- A : 1 論文『『弘安源氏論義』をめぐる故実と物語』（倉本一宏編『説話研究を拓く——説話文学と歴史史料の間に』、思文閣出版、39-61頁、2019年3月）
- 2 論文『『弘安源氏論義』をめぐる史料と説話』（倉本一宏・小峯和明編『説話の形成と周縁 中近世篇』、臨川書店、59-90頁、2019年6月）
- 3 論文「保田與重郎—「偉大な敗北」に殉じた文人」（筒井清忠編『『昭和史講義【戦前文化人篇】』』（ちくま新書1421）、筑摩書房、106-116頁、2019年7月）
- 4 論文「実朝の題詠歌—結題（＝四字題）歌を中心に」（渡部泰明編『源実朝 虚実を超えて』、【アジア遊学241】、勉誠出版、81-97頁、2019年12月）
- B : 1 学会発表「中世から近世へ—古典注釈の展開を通して 宗祇から契沖へ」、日本思想史学会大会 シンポジウム「中世から近世へ—16・17世紀の思想史的課題」、茨城大学、2019年11月2日、下川玲子、齋藤公太氏とパネラーを務める。
- 2 学会委員 中世文学学会委員
- 3 学会委員 仏教文学学会委員
- 4 学会委員 説話文学学会委員
- C : 1 講演 明星大学人文学部日本文化学科公開講座 源氏物語講読（薄雲）、明星大学、2019年10月19日
- 2 講演 明星大学人文学部日本文化学科公開講座 源氏物語講読（朝顔）、明星大学、2019年10月26日
- D : 1 データベース構築、2019年3月25日～29日、明星大学前田研究室、作業者 渡瀬淳子北九州市立大学准教授、前田
- 2 データベース構築、2019年8月25日～29日、明星大学前田研究室、作業者 渡瀬淳子北九州市立大学准教授、前田
- 3 データベース構築、2019年12月26日～30日、明星大学前田研究室、作業者 渡瀬淳子北九州市立大学准教授、前田
- 4 肥前島原松平文庫文献調査、2019年3月13日～15日、島原市立図書館、作業者 内田澪子、松本麻子医療創成大学准教授、渡瀬淳子北九州市立大学准教授、前田
- 5 肥前島原松平文庫文献調査、2019年8月21～23日、島原市立図書館、作業者 内田澪子、松本麻子医療創成大学教授、渡瀬淳子北九州市立大学准教授、前田
- 6 ゼミ活動
- 今年度、二年の基礎演習は、前期『宇治拾遺物語』、後期契沖『百人一首改観抄』の演習を行った。三人～四人でチームを組み、前期・後期各三回ずつ発表させた。とりわけ『改観抄』など最初は何を書いているのか分からない学生がままたが、一部はかなり解釈できるようになったと思う。次に、三年の演習は、相変わらず、『古今集』の和歌を中世注釈（『両度聞書』、『古聞』、『榮雅抄』など）、近代注釈（新大系・新編全集、新潮古典集成、角川ソフィア文庫）、影響歌などを解説するこ

とによって、読解させ=発表させていく演習を続けている。二人一組、毎回、三首だから、年間を通じて、6~7回は発表させたか。最後に、4000字以上のレポートを課している。一般入試に古文・漢文がない本学であるが、この二年間の修行=苦行か=によって、先行研究のない和歌などを主題とした卒論が生まれていることは喜ばしい。四年の卒研ゼミでは、今年は頓阿和歌の研究で優秀作が出た。他方、脱落者も少ないながら出ており、レベル維持、実力養成と脱落者の問題は今後も頭を悩ませそうである。

## 芳澤 元

- A : 1 (単著)『足利将軍と中世仏教』、相国寺教化活動委員会、2019.12.31  
2 (論文)「碧潭周皎の周辺と中世仏教一嵯峨・仁和寺・高山寺一」、早島大祐編『中近世武家菩提寺の研究』(小さ子社)、p.373-397、2019.05.31  
3 (論文)「中世禅林の片岡山飢人説話一達磨寺・太子旧跡・虎関師鍊一」、荒木浩・小林直樹編『日本文学研究ジャーナル』10号(古典ライブラリー)、p.97-110、2019.06.30  
4 (解説)「書評 原田正俊編『宗教と儀礼の東アジア一交錯する儒教・仏教・道教一』」、『日本史研究』680号、p.69-77、2019.04.20  
5 (解説)「禅院吸江寺の中世」、『開創700年記念 吸江寺展』特別展図録、p.6-16、2019.10.04
- B : 1 日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究)「分野横断的な中世仏教文献の研究一南北朝期の新史料『梅林折花集』を中心に一」研究期間:2018.04~2021.03【研究代表者】  
2 日本私立学校振興・共済事業団若手研究者奨励金「16世紀前期の在俗宗教に関する基礎的研究」研究期間:2018.04~2019.03【研究代表者】  
3 宗教法人鹿苑寺・北山金閣鹿苑寺委託研究「室町殿と鹿苑寺」研究期間2017.04~2019.03【研究代表者】  
4 国際日本文化研究センター重点共同研究「応永・永享期文化論一「北山文化」「東山文化」という大衆の歴史観のはざままで一」研究期間:2018.06~2021.03【共同研究員】  
5 野上記念法政大学能楽研究所:共同利用・共同研究拠点(能楽の国際・学際的研究拠点)「能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究」2017.06~現在(研究代表者:高橋悠介)【研究分担者】  
6 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 領域開拓プログラム(課題D:嗜好品の文化的・社会的意味)「失われた飲食文化の復活と現代に問いかけるその意義」2017.10~現在(研究代表者:伊藤信博)【研究分担者】  
7 頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「室町後期から江戸期の絵写本・版本研究を通じた日本学研究と西欧とのネットワーク構築」2017.10~現在(研究代表者:伊藤信博)【研究担当者】

- 
- 8 (研究発表)「仏舎利にみる室町仏教」、野上記念法政大学能楽研究所共同利用・共同研究拠点〈能と仏教〉研究会(於:泉涌寺宝物館心照殿 京都市東山区)、2019.01.20
- 9 (学術講演)「中世のなかの相国寺—在俗宗教論の可能性—」、相国寺教化活動委員会研修会講演「相国寺と室町殿・中世社会」第4回(於:相国寺・桂芳軒〔新寺務棟〕2階講堂 京都市上京区)、2019.02.08
- 10 (研究発表)「都鄙関係・境界地域にみる室町文化」、国際日本文化研究センター重点共同研究「応永・永享期文化論—「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざままで—」研究集会シンポジウム『室町文化と外縁—文芸に〈国際性〉を読む—』(於:慶應義塾大学三田キャンパス北館3階会議室 東京都港区)、2019.03.03
- 11 (研究発表)「東福寺の景観」、頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムによる国際研究集会『チェスター・ピーティ―ライブラリー蔵 絵巻絵本の最新研究』(於:ダブリン城チェスター・ピーティ―図書館 アイルランド共和国・ダブリン市)、2019.03.07
- 12 (オーガナイザー兼パネリスト)シンポジウム「14世紀の宗教文芸—『梅林折花集』『真友抄』の世界—」、説話文学会平成31年度4月例会〔通算第171回〕(於:文教大学越谷キャンパス3号館3301号室 埼玉県越谷市)、2019.04.20
- 13 (研究発表)「南北朝内乱の騷擾と寺院社会—醍醐寺賢西『梅林折花集』と『真友抄』—」、説話文学会平成31年度4月例会〔通算第171回〕シンポジウム「14世紀の宗教文芸—『梅林折花集』『真友抄』の世界—」(於:文教大学越谷キャンパス3号館3301号室 埼玉県越谷市)、2019.04.20
- 14 (研究発表)「謡曲《絵馬》管見—斎宮・アマテラス・東福寺—」、野上記念法政大学能楽研究所共同利用・共同研究拠点〈能と仏教〉研究会第5回(法政大学市ヶ谷キャンパス・ボアソナードタワー19階D会議室 東京都千代田区)、2019.07.12
- 15 (研究発表)「梅林折花集をよむ—14世紀宗教批評・附:喫茶断章—」、鎌倉禅研究会第158回公開講座(於:大本山建長寺応供堂 神奈川県鎌倉市)、2019.10.17
- 16 (学術講演)「上皇のくらし—花園院と光厳院—」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座「即位と改元」(於:明星大学日野キャンパス 東京都日野市)、2019.10.26
- 17 (学会活動) 佛教史学会委員 2008.10~現在
- 18 (学会活動) 早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員 2013.04~現在
- 19 (学会活動) 国際日本文化研究センター共同研究員 2018.06~現在
- C : 1 (模擬授業)「室町ラーメンものがたり」、明星大学オープンキャンパス、2019.07.14  
2 (取材記録)「南北朝時代 僧の対談記録 醍醐寺×高山寺」、読売新聞、2019.12.18
- D : 1 (学内研究会)「歴史を旅する会」冬季エクスカージョン(於:三重県伊勢市) 2019.02.11~13  
2 (学内研究会)「歴史を旅する会」夏季エクスカージョン(於:神奈川県鎌倉市) 2019.08.08
-

- 3 (調査編集) 能作品の仏教関係語句データベース作成と能の宗教的背景に関する研究  
(於：法政大学能楽研究所：共同利用・共同研究拠点)
- 4 (史料調査) チェスター・ビーティアー・ライブラリー所蔵絵巻絵本の調査・撮影  
(於：アイルランド共和国ダブリン城チェスター・ビーティアー図書館：頭脳循環を  
加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムによる国際研究) 2019.03.05  
～09
- 5 (史料調査) 醍醐寺文書の調査・撮影 (於：大本山醍醐寺：科学研究費補助金助成事  
業：若手研究) 2019.08.17～18